

県組合秋田支部

電気工事、理解深めて

男鹿工業高で交流会

男鹿市の男鹿工業高校で、電気工事業者との交流会が開かれた。電気電子科の2、3年生34人が参加し、高所作業車の乗車や電気工事の模擬体験を通じて仕事への理解を深めた。秋田市や男鹿南秋地域の業者でつくる県電気工事業者組合秋田支部の主催。

15日開催。生徒たちは2班に分かれ、工具を手にケーブルを切断したり、プレーカーに電線を接続したりといった作業に挑戦。同組合青年部の



電気工事業について理解を深めた交流会

メンバー11人が講師役を務め、アドバイスした。

学校裏で高所作業車に乗車し、最大約15メートルの高さで作業する雰囲気味わった。

交流会は、高校生に電気工事業について理解を深めてもらうと、管内の工業高校で毎年開催している。直近2年間は新型コロナウイルスの影響で見合わせていた。

2年の鈴木陸さんは「普段できないような体験ができた。進路の参考にしたい」と話した。

(藤田将子)